

**「口元が見えるマスク」を民間保育施設等に配付しました**

新型コロナウイルス感染症の感染が未だ終息せず、保育施設等においてマスクを着用した保育者との生活が長く続く中、乳幼児期の子ども達が保護者以外の大人との表情を介したコミュニケーションに乏しい状況であることから、越谷市では使用を希望する民間の教育・保育施設に「口元が見えるマスク」を配付しました。

当該マスクを継続的に使用していくことで、様々な表情から感情を理解する能力を身に着ける重要な時期にある子ども達の脳の発達を促すなどの効果が期待できると見込まれることから、絵本の読み聞かせを行う際や喫食時の咀嚼を促す場面などにおいて、各園での効果的な活用を促します。

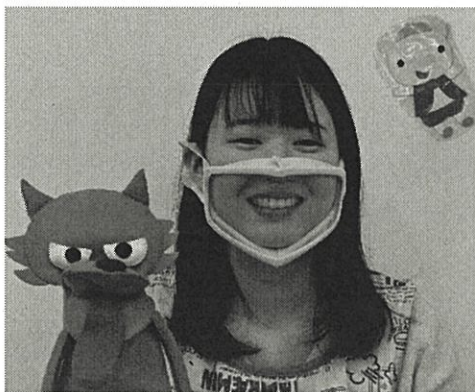
<事業概要> 保育士1人あたり3枚配付

**1 配付施設数及び枚数**

施設種別	施設総数	配付施設数	対象人数	配布枚数
私立保育園	24	19	319人	957枚
認定こども園	9	7	182人	546枚
地域型保育事業所	65	49	372人	1116枚
私立幼稚園	20	11	227人	681枚
認可外保育施設等	32	18	116人	348枚
計	150	104	1216人	3648枚

**2 その他**

当該マスクは、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、「乳幼児コミュニケーション発育支援事業」として購入したものです。



【問い合わせ】子ども家庭部保育入所課長 豊田 裕二

電話048-963-9167